

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社Kaien 放課後等デイサービス ティーンズ本八幡			
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●高い満足度と信頼感 ・支援に満足との回答が大半を占め、「通わせて本当によかった」との声も。 ・褒める支援により自己肯定感の向上が見られる。	●空間・設備面での配慮と工夫 ・別室の設置や声かけによる配慮が評価されている。個々の特性に応じた空間づくりを工夫している。	●オンライン講座の周知と参加促進 ・参加率が低く、制度周知に課題。説明会や案内強化により参加機会の向上を図る。
2	●専門性を持った職員の配置と対応 ・特性理解や的確な助言など、保護者から専門性の高さが評価されている。家庭での対応にも好影響を与えている。	●保護者の声を活かした柔軟な対応 ・アンケートや面談により、保護者の声を反映し、苦情にも丁寧かつ迅速に対応している。	●交流機会の拡充（地域・他機関連携） ・障害のない子との交流経験が少なく、地域連携の場を意識的に創出していく必要がある。
3	●保護者との丁寧な連携と助言 ・報告メールや面談を通じて家庭との連携が強化されており、共通理解と信頼関係の構築に繋がっている。	●定期的なプログラム見直しと実効性のある支援 ・定期的な見直しを行い、本人の成長や希望に即した内容に調整している。	●スタッフ全体の専門性の均一化 ・日によって支援に差があるという声もあり、全職員の支援スキルの底上げが必要。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●オンライン講座の周知と参加促進 ・参加率が低く、制度周知に課題。説明会や案内強化により参加機会の向上を図る。	●未利用プログラムの認知不足 ・一部プログラムが十分に認知されておらず、参加促進に向けた広報が必要。 ●連絡の取りにくいご家庭との関係改善	●プログラム周知の方法改善とアクセス性の向上 - 参加しやすい案内方法の見直しや動画などの活用を進める。 ●連絡手段はメールのほかにLINEも取り入れ、保護者への周知が行き届くよう取り組んでいる。
2	●支援者間での対応力・専門性のばらつき ・支援の質の平準化と、チーム全体での情報共有・研修体制の強化が課題。	●多様な背景を持つスタッフが勤務しており、支援の共通言語が不足しがちである。	●スタッフ研修の定期実施とケース共有の強化 ・ケース会議等を通じて情報を共有し、属人的な対応の改善を図っている。
3	●静穏な環境づくり ・様々なニーズを持つお子さんが利用しており、お互い気持ちよく過ごせないことがある。	●利用に関するルールと空間私用の再検討 ・環境調整に対するフィードバックを反映し、利用者の安心感を高める工夫が求められる。	●環境調整に関する意見収集とフィードバック体制の構築 ・感覚過敏などへの対応を強化し、安心できる空間づくりを行っている。 ・利用者主体となったルールを策定し、様々なお子さんが気持ちよく過ごせるよう改善を図っている。